

# R3「学力向上対策3つの提言」推進拠点校の取組 及び 成果と課題 ①

## (中津市立中津中学校)

### 重点的取組 【提言3】

## 「生徒と共に創る授業」の推進

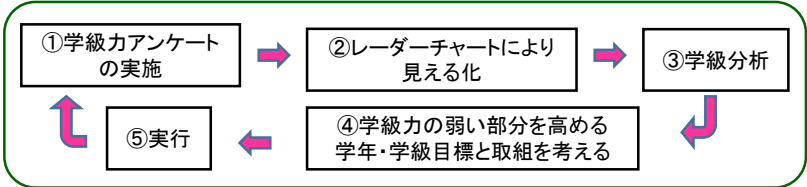
<学力向上に向けて重点的取組に上げた理由>  
 学びに向かう学習集団づくりとして行っていたPUCC(パワーアップ中中)。PDCAサイクルを回すことで、学級活動に受け身状態であった生徒も一緒になって、活動を行うことができていた。しかし、質問項目の固定化による活動のマンネリ化や中央委員が主に活動を主導していたので、質問項目の再設定や全校生徒を巻き込んだ活動へとつなげる必要があった。

### 取組の具体

#### 【学びに向かう集団づくりの取組について】

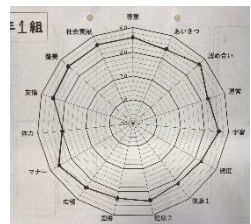
**PUCC[S]**

PDCAサイクルを  
生徒自らが回す



#### < 新たな取り組み ～一人ひとりが活躍するために PUCC[S]へ～ >

- ・生徒会専門部によるアンケート項目の作成、承認
- ・「ファシリテーター、サイドワーカーの心得」の作成
- ・ファシリテーターによる学級での話し合いの事前練習
- ・交流の場でみんながアウトプット
- ・・・全校を巻き込む
- ・・・話し合いの活性化
- ・・・ファシリテーターの育成
- ・・・お客さんを作らない



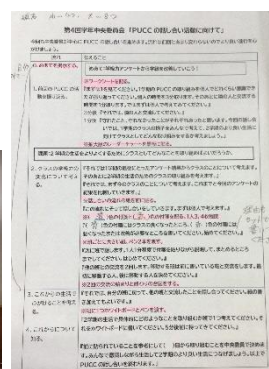
レーダーチャート;PUCC[S]



KJ法でまとめた班での分析をワールドカフェで意見交流



中央委員(ファシリテーター)が学級の話し合いをリード



ファシリテーター用原稿

### 成果と課題

- ◎ PUCC【S】の①～⑤の全ての活動を生徒が主導したり、ファシリテーター・サイドワーカーを意識させたりすることで、一人ひとりが主体的に話し合いや諸活動に参加するようになった。
- ◎ 生徒会活動と学級活動がリンクするようにアンケート項目を考えることで、生徒会活動として学級づくりを行うことができた。
- ◎ アンケート項目の再設定で学級の課題が明確学習(旧)授業中にむだなおしゃべりをしない↓学習(新)分からない所などを話し合える↑
- ◎ 若手の生徒会担当が「生徒を育てる」という視点で活動に取り組んでいるので、『教育者』としての力を高めつつある。
- △ アンケート項目で学級力向上とのつながりが弱い項目があった。  
⇒アンケート項目のブラッシュアップが必要  
⇒生徒会専門部の再編(?)

## その他の取組 【提言1】

### 学校の組織的な授業改善による「新大分スタンダード」の徹底

#### 取組の具体

＜『みんなで実践 みんなで振り返り』を目指して＞

##### 【授業改善の取組について】

- ・大まかな方向性を示し、各教科で話し合い・決定した内容を実践する  
1学期;毎時間のアウトプット(対話)の場の設定, 考えを深める手だての工夫  
2学期;練り合いの場(比較検討)の充実
- ・実践交流会(8月, 2月)・・・各教科で実践した内容を10分程度で発表

##### 【互見授業・授業研究の取組について】

- ・互見授業・・・教科担当全員参加+事後研
- ・研究授業・・・事後研をワークショップ型(チーム構成;少人数, 異教科, 異年齢)へ

#### 成果と課題

- ◎ 各教科で話し合った内容を実践したことで、一人ひとりが取組内容を理解し、課題意識をもって授業改善に取り組めた。
- ◎ 実践交流会では、各教科で実践している授業作りの工夫を共有することで、授業改善の充実を図ることができた。
- ◎ 事後研でワークショップを取り入れたことで、若手が話し合いに参加し、多様な考えに触れることができた。また、グループ協議での話し合いの内容を若手が発表する場を設定したことで、若手が授業の見方やよさ、改善のための視点を主体的に学ぶことにつながった。
- △ 教科を主体に活動を行ったことで、人数の少ない技能教科での実践の深まりが難しい面があった。

## その他の取組 【提言2】

### 学校規模に応じた教科指導力向上の仕組みの構築

#### 取組の具体

##### 【「教科部会」の取組について】

- ・日課表に位置づけた教科部会(週1回)から水曜日の放課後(月2回)へ

##### ○ 話し合った内容

～研究から～

- ・研究から出された方向性に関しての実践内容
- ・生徒による授業評価アンケート結果の分析, 手だての考案

～自由～

- ・単元計画の確認, 指導案審議, 困りを出し合う など  
話し合った内容をファイリングし記録を残す

#### 成果と課題

- ◎ 日課表に位置づけていたときは、生徒のことが気になり話し合いに集中できないことがあったが、放課後に位置づけたことで気が散ることなく話し合いを行えた。
- ◎ 授業改善の取組とリンクさせたことで、みんなで一緒に取り組もうとする場となった。
- ◎ 授業評価の分析で若手が抱えている困りを一緒になって考えることができた。
- △ 単純に回数が半減した。行事で水曜の放課後に行えないことがあった。  
⇒空き時間での短時間の確認へ